

平成29年3月

# 税法学原論研究会 第16回のお知らせ

東京青年税理士連盟  
会 長 手塚 久雄  
研究部長 湊 真志

皆様、こんにちは。税法学原論研究会第16回を下記要領で実施します。

今回のテーマの一つである「税務職員の守秘義務」では、税務職員が職務上知り得た納税者の「秘密」と内部情報である行政庁側の「秘密」を対比しながら、守秘義務の在り方について理論的に検討します。

また、もう一つのテーマである「税務争訟制度」では、更正または決定処分後の「不服申立て」から「訴訟」までの仕組みを理解するとともに、それぞれの手続きの現状と問題点を確認していきます。

税法学原論研究会は、故北野弘久先生の名著『税法学原論』を査読のうえチューターが発表、オブザーバーがアドバイス、そして参加者が意見や考えを出し合う勉強会です。終了後の懇親会は会員同士の情報交換の場でもありますので、こちらも是非ご参加ください。お待ちしております！

## 記

日 時 : 平成29年5月18日(木) 18:40~21:00  
場 所 : 税理士会館 (下記地図参照)  
チューター : 山口 玉美 会員  
オブザーバー : 小池 幸造 会員 (税理士・元静岡大学教授・元全国青税会長)  
対 象 : 会員・準会員  
内 容 : 税法学原論第7版  
第24章 税務職員の守秘義務  
第26章 税務争訟制度  
参 加 費 : 500円 (資料代) ★新合格者は無料です！

(今後の開催予定)

	開催予定日	章 テーマ
16	5月18日(木)	24 税務職員の守秘義務 26 税務争訟制度
17	6月19日(月)	27 税務制裁制度
18	7月 日( )	25 税理士制度

(開催場所)



※開催日は毎月10日前後を目安に調整し、個別にご案内します。

なお、当日、テキストの『税法学原論』第7版を定価4,320円(税込)のところ、3,500円(税込)で販売致しますので、お持ちでない方はこの機会にぜひ購入をご検討ください。